



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2003. 12 月号

新規市指定文化財・博物館収蔵絵画の公開

平塚市教育委員会では今年度新たに2件12点の絵画を重要文化財に指定しました。今回の展示では新規に指定した2件のほか、博物館に収蔵している絵画もあわせて公開します。

「紙本版摺着色 十二天像のうち十一天」は、仏法を守護する十二天を描いたもので、風天(ふうてん)を除く11幅が残っています。軸木銘(じくぎめい)によって文禄元年(1592)三月に制作されたことがわかり、桃山時代の基準作例として貴重です。本作を所有する芳盛寺は、真言宗の寺院で、土屋三郎宗遠(つちやさぶろうむねとお)の開基と伝えられています。「紙本着色 如意輪観音像」は、衆生の苦を救い所願を成就させるという如意輪観音を描いたものです。制作時期は、以前の調査では江戸時代と推定されていましたが、修復後再調査をした結果、室町時代末期まで遡る可能性があるかと判断されています。

本作を所有する長善寺は、浄土宗の寺院で、応永十年(1403)ごろの創建と伝えられています。

会期 平成15年12月7日(日)～12月14日(日)
会場 特別展示室

展示作品

■新規指定文化財■(平成15年10月22日 平塚市指定重要文化財に指定)

紙本版摺着色 十二天像のうち十一天 (芳盛寺所蔵)

紙本着色 如意輪観音像 (長善寺所蔵)

■博物館収蔵絵画■

絹本着色 僧空海画像

(市指定重要文化財) (芳盛寺所有 博物館寄託)

紙本着色 涅槃図

(市指定重要文化財) (神田寺(旧観音寺)所有 博物館寄託)

紙本着色 十五圓のうち五道転輪王

(市指定重要文化財) (神田寺(旧観音寺)所有 博物館寄託)

大山寺縁起絵巻 (市指定重要文化財)

中原御宮記 (市指定重要文化財)

紙本着色 天橋立図屏風



紙本着色 如意輪観音像 (長善寺所蔵)

■主催■ 平塚市教育委員会

■協力■ 芳盛寺・長善寺・神田寺(旧観音寺)

■お問合せ■ 社会教育課

TEL 0463 - 35 - 8124

※展示内容は変更することもございますので、あらかじめ御了承ください。

2004年の天文現象

2003年は火星大接近の話題でもちきりの年でした。2004年は、金星が大活躍。その他、天文現象は近年になく粒ぞろいです。それぞれの現象がどんな眺めになるか、まずは、プラネタリウムで1年の計を・・・そして、ああ、あとは(ぜひとも)お天気に恵まれて、楽しい年になりますように。

3月下旬 宵の空に5惑星勢ぞろい。

金星は年初から宵の明星として夕方西の空に輝いています。3月下旬には最も高くなり、光輝も際立ちます。水星、火星、土星、木星も加わって宵の空を賑わせます。22日ころからは月も参加。

5月5日 皆既月食(ただし平塚は・・・)

5月5日明け方、皆既月食が起きます。ただし平塚では月が欠け始め、皆既になる直前に・・・なんと月は没してしまい、朝となります。なんだか、いいところで覚めてしまう夢みたいですね。正確には、平塚では部分月食と呼ぶべきでしょうか。

5月 夕方に2彗星競演。明るさは?

ニート彗星、リニア彗星があいついで地球に接近します。両彗星とも肉眼で見えるくらいに明るくなるかもしれないと予想されています。ニート彗星は5月初めから夕方の西の空に見られます。その光度が落ちてくる下旬、入れ替わるようにリニア彗星が観望好機に入ります。

6月8日 金星の太陽面経過

明けの明星・宵の明星の二役をこなす金星は、その舞台を仕切る太陽の手前を駆け抜け、明け方に移ります。ところが今回はそのときちょうど太陽と重なり、太陽面を黒く丸いシルエットがよぎって行くのが見えるのです。世界でも122年ぶりという「超」珍しい現象です。

8月12/13日 ペルセウス座流星群極大(月明条件良)

2004年は、大きな流星群のペルセウス、しし、ふたご群がどれも月明の影響の薄い好条件で観測できます。ペルセウス群は12日の深夜が極大。前夜からかなり見られそうです。

10月14日 部分日食

太陽の直径の約2割が欠ける部分日食。11～12時ころ見られます。

11月5日 明け方、金星と木星接近(わずか35'角に)

明けの明星になっていた金星が木星と大接近。明け方5時ころ東の空を見ましょう。最も近づくのは5日の明け方ですが、月が割って入る10日ころの眺めも面白そう。

11月17/18日 しし座流星群

周期のピークを過ぎたしし群ですが、まだ名残の活動が見られています。2004年は月の条件が良いので、今後発表される予報計算に注目を。

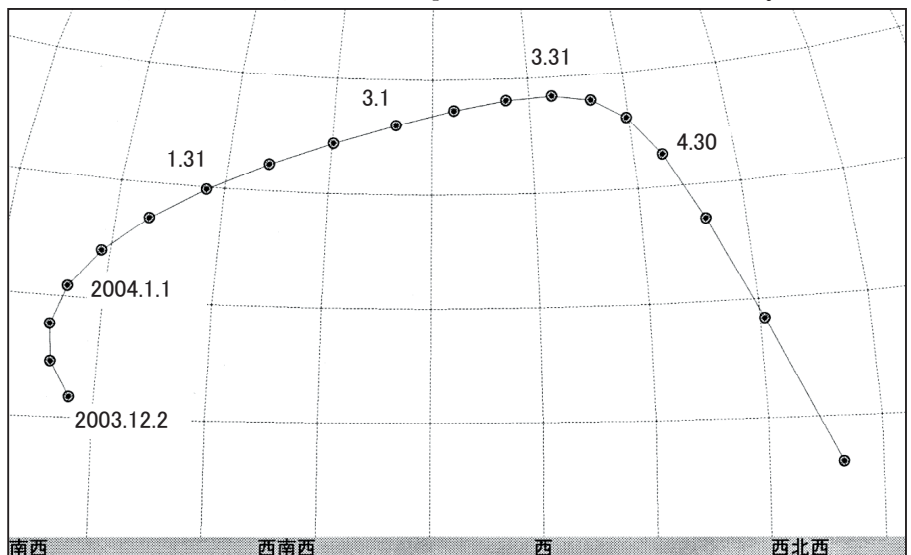
12月13/14日 ふたご座流星群極大

13日の夜遅くから14日明け方にかけて、月明もなく、極大予報時刻に輻射点が高くなっており、最良の条件です。

* 太陽面経過や日食などの観察は、直接太陽を見ると危険ですので注意してください。

金星(よいの明星)の位置の変化(日没30分後 線は10°おき)

2003年12月～2004年5月 (StellaNavigator Ver.5/AstroArtsInc./ASCII Corp.にて作図)



プラネタリウム「2004年の天文現象」

毎日の星空と、2004年に見られる主な天文現象を解説します。

期間:平成15年12月6日(土)～2月7日(日) 投影日:毎週土、日曜日、12月25日(木)、1月7日(水)

12月の寄贈品コーナー

寄贈された漂着物ー渡辺康史コレクションー

会期:12/3(水)～1/4(日)

●ビーチコーミングとは？

近年、ビーチコーミングが静かなブームだと、雑誌やテレビで話題になることが多くなっています。ビーチコーミング beachcombing という言葉は、もともとは無人島に漂着したような人が、海岸を漁って食料や燃料、建物の材料などを手に入れることを意味していましたが、現在では、海岸で拾い物をする楽しみのことをさしています。拾った物は、観察やスケッチをするほか、コレクションを作る、クラフトの材料にするなど、その人によっていろいろな楽しみ方があります。

ビーチコーミングを趣味にしている人がビーチコーマーですが、今月の寄贈品コーナーで資料を紹介する大和市在住の渡辺康史さんは筋金入りのビーチコーマーと言えるでしょう。



渡辺コレクションの漂着した木の实

●はば広い興味

ビーチコーマーの興味の対象は、人によって違っていますが、渡辺さんの場合には、非常に幅広いのが特徴です。

たとえば、貝やカニのような動物、果実や種子のような植物、浮きやおもりのような漁具、空きビン、土器の破片、化石など、何でも拾い集めてくるのが渡辺流です。県内だけでなく、沖縄からさらには外国まで、その足跡も広域に及んでいます。

●ネタと整理

渡辺さんから寄贈された漂着物は多岐にわたっていますが、それらにすべて拾った場所や年月日を書いたラベルがつけられているのが特徴です。そうすることによって、その物が単なるガラクタではなくて資料的な価値を持った物に変身するのです。

また、たとえば木や草の果実や種子は、透明なケースにきれいに並べられています。そう整理することで、見た目にも楽しいコレクションになっています。

皆さんも渡辺さんにならって、自分のコレクションを作ってみてはいかがでしょうか。

「博物館アラカルト展」へどうぞ！！

会期：12月25日(木)～28日(日)

時間：午前10時～午後6時30分(最終日は13時まで)

場所：市民プラザ(紅谷町18/銀座通り西端)

- ・博物館で初めて市民プラザを借り切ったの展示を行います。
- ・短い期間ですがぜひご来場ください。
- ・何を展示するかは、内緒です。各分野で写真パネルや資料を持ち寄って楽しい展示にしたいと考えています。正月休みに役立つような情報も紹介する予定です。たとえば、「冬休みに出かけよう野鳥観察」・・・



博物館カレンダー

2003年12月の行事

12	3	水	☆ 寄贈品コーナー「寄贈された漂着物」(~1月4日) 平塚社寺調査会 ○ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	展示室 特研究室 プラネ
12	4	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
12	5	金	古文書講読会	講 堂
12	6	土	☆ プラネタリウム「2004年の天文現象」(~2月7日) 民俗探訪会「秋葉山火防祭」	プラネ 小田原市
12	7	日	古代遺跡を探す会 地質調査会	野外 清川村
12	11	木	湘南コケの会 石仏を調べる会	講堂 特研究室
12	12	金	古文書講読会	講 堂
12	13	土	◎ 漂着物を拾う会 地質調査会 天体観察会 (~14日)	虹ヶ浜 科学室 函南
12	14	日	○ 体験学習「お飾りを作ろう」 水辺の楽校生きもの調べの会	講 堂 相模川
12	17	水	裏打ちの会 ○ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	科学室 プラネ
12	18	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
12	19	金	古文書講読会	講 堂
12	20	土	民具に親しむ会 ○ 自然の新聞を作る会	科学室 豊田
12	21	日	◎ ろばた話の会 相模川の生い立ちを探る会	展示室 秦野市
12	26	金	古文書講読会	講 堂
12	27	土	空襲と戦災を記録する会	特研究室

☆: 展示(無料)・プラネタリウム(観覧料) ○: 申込制 ◎: 自由参加 無印: 年間会員制

2004年1月の行事

1	4	日	☆ 冬期特別展「食の民具たち」(~2月29日)	特展示室
1	7	水	☆ 寄贈品コーナー「臼と杵」(~2月15日) 平塚社寺調査会	展示室 市内
1	8	木	湘南コケの会 石仏を調べる会	講堂・野外 特研究室
1	9	金	古文書講読会	講 堂
1	10	土	民俗探訪会「足柄のオンベ」 ◎ 漂着物を拾う会	南足柄市 虹ヶ浜
1	11	日	古代遺跡を探す会 地質調査会	野外 科学室
1	14	水	○ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ
1	16	金	古文書講読会	講 堂
1	17	土	相模川の生い立ちを探る会 天体観察会	秦野市 屋上
1	18	日	◎ ろばた話の会 水辺の楽校生きもの調べの会	展示室 相模川
1	21	水	裏打ちの会 ○ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	科学室 プラネ
1	22	木	石仏を調べる会	特研究室
1	23	金	古文書講読会	講 堂
1	24	土	民具で昔の食体験 空襲と戦災を記録する会 天体観察会	野外 特研究室 屋上
1	25	日	地質調査会	清川村
1	29	木	植物誌調査会	講堂
1	30	金	古文書講読会	講 堂
1	31	土	天体観察会	屋上

<展示とプラネタリウム>

☆寄贈品コーナー

「寄贈された漂着物—渡辺康史コレクション—」
会 期: 12月3日(水)~1月4日(日)

☆ プラネタリウム「2004年の天文現象」

2004年に起こる天文現象のうち、平塚で見られるものを紹介します。

期間: 12月6日(土)~2月7日(土)まで
投影日: 土日曜日の11時と14時

<参加者募集>

◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。

日 時: 12月13日(土)9時30分~11時

場 所: 平塚虹ヶ浜海岸

参 加: 自由(ただし、初めての方は往復はがきで申し込むこと)

○自然の新聞を作る会「豊田」

日 時: 12月20日(土)13時~16時

場 所: 豊田周辺

申 込: 往復はがきで12月10日までに申し込む

定 員: 30名

◎ ろばた話の会

民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。

日 時: 12月21日(日)(1)13時20分~(2)15時~

場 所: 展示室民家

参 加: 自由

○プラネタリウムで宇宙を学ぶ会

宇宙のしくみやそれを解明する科学の最新の成果などを解説します。

日 時: 12月3日・17日、1月14日・21日、2月4日・18日の各水曜日

場 所: 博物館プラネタリウム

参 加: 担当まで電話でご連絡ください。

新年4日から開催!~冬期特別展「食の民具たち」~

開館以来、市民の皆さまに寄贈していただいた資料の中から、“食”に関わる民具を一挙に公開します。展示資料のほとんどは現在の暮らしから姿を消してしまったもので、年配の方には懐かしく、若い方には昭和30年代以前の暮らしを知る機会になるでしょう。小学校の生活科の授業にもぜひお役立てください。詳しくは新年号でお知らせします。

会 期: 平成16年1月4日(日)~2月29日(日)

12月29日から1月3日までは休館です。

あなたと博物館 29巻 9号 通算324号 発行 平塚市博物館 2500

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail:muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>